

於大のみち再整備基本計画(案)について

1 趣旨

歴史散策路「於大のみち」は、ウォーキングコースとして日々利用されているだけでなく、八重桜の名所として町内外に知られており、東浦町における主要なスポットとなっています。しかしながら、整備から 30 年以上経過し、舗装や東浦町の歴史や於大の方を紹介する陶板等の老朽化が進んでおり、2028 年の於大の方生誕 500 年に向けて於大のみちの再整備を実施していくため、整備に向けた計画づくりを行っています。

今回、再整備基本計画(案)を作成したことから、住民の皆様の意見を募集します。

2 目的及び背景

於大のみちの再整備を実施していくにあたり、単純な舗装の改修のみで終わるのではなく、魅力ある散策路としていくため、2025・2026 年度の2か年で再整備に係る計画策定を行っています。今後は、再整備基本計画を基に実施設計を進め、2027 年度中に工事の完了を予定しています。

3 実施機関の考え方

基本計画(案)では、於大のみちの周辺施設や地域資源とのつながりを持たせるため、於大のみちを中心に、その周辺施設や駅をつなぐ歩行者ネットワークのルートを設定し、於大のみちを東浦町の歴史や自然を体感し、周辺施設や地域資源を結ぶ拠点と位置付けました。

そして、於大のみちを訪れることで、東浦の地で育まれた歴史や自然など、過去から現在に続く東浦の魅力やまちの価値を体感し、日々集う人が交流と活動により、未来に向かって新たな糸を紡いでいく場となるよう、於大のみち再整備のテーマを「歴史を纏^{まと}い 未来を紡^{つむ}ぐ 於大のみち」と決めました。